

6月24日(日)
フェスタ2018開催!
総会 講演会 懇親会

NPO法人日本ベジタリアン協会主催・日本ベジタリアン学会後援
フェスタ2018 日本ベジタリアンアワード大賞受賞・山形謙二氏による
～最新の米国ベジタリアン医学—生活習慣病の予防と治療—

- 日時 6月24日(日) 午後2時
- 場所 大阪国際会議場(グランキューブ大阪)8F
大阪市北区中之島5丁目3番51号 TEL: 06-4803-5555
- プログラム
総会 2時～(会場8F)
<第1部> 3時～(会場8F)
講演会 山形謙二氏(神戸アドベンチスト病院名誉院長)
<第2部> 5時～(会場7F)
懇親会 立食パーティー(リーガロイヤルホテルシェフによるベジタリアン料理)
- 会費 第1部 3,000円(会員は無料)
第2部 3,000円(懇親会費)
- 参加申込み・問い合わせ NPO法人日本ベジタリアン協会事務局

講師紹介

山形謙二氏のプロフィール:

神戸アドベンチスト病院名誉院長。東京大学理学部、米国ロサンダ大学医学部卒業。米国内科専門医、米国内科専門医会フェロー、米国ホスピス緩和医療学専門医。日本ベジタリアン学会副会長、日本スピリチュアルケア学会評議員、第3回日本ベジタリアンアワード大賞、兵庫県社会賞、兵庫県医師会功績賞受賞。
著書:「隠された神」、「いのちをみつめて」、「人間らしく死ぬということ」など。監訳書:「トータルヘルスへの13のカギ」

日本ベジタリアン学会アドヴァイザー講座

ベジタリアン食に関する国際水準の高度な知識を習得する
学会認定アドヴァイザー資格*が1日で取得できます。
*<http://www.jpvs.org/entry/nintei/index.html>

開催日・場所 6月24日(日)大阪国際会議場 8F

- 1限目 ベジタリアンの理念と歴史 9時30分～10時20分
講師 NPO法人日本ベジタリアン協会代表、歯博 垣本 充
- 2限目 ベジタリアンと環境 10時30分～12時20分
講師 日本ベジタリアン学会会長、理博 高井明徳
- 3限目 ベジタリアンと健康 11時30分～12時20分
講師 NPO法人日本ベジタリアン協会代表、歯博 垣本 充
- 4限目 途上国の飢餓救済 12時30分～13時20分
講師 日本国際飢餓対策機構常務理事 清家弘久

申込: 本協会事務局 E-mail: jpvs.office@gmail.com
注 単独講座の受講も可能です。1講座2000円(修了証発行)

大阪定例ベジ交流(食事)会は毎月(6,12月以外)最終金曜日の18時より、中央区の「グリーンアース」にて開催します。非会員の方も歓迎します。全国各地で、会員から研究会・交流会などの提案があれば、援助する場合がありますのでご相談ください。

訂正箇所お知らせ

ベジタリアン・ジャーナル 49号3頁のビーガングルメ祭りの日時・場所に誤りがありましたので、下記のように訂正いたします。
ビーガングルメ祭り
東京 4月23日/10月1日(東京都江東区・木場公園)
名古屋 5月14日(名古屋市中区・鶴舞公園)

●会場 MAP



- 京阪電車中之島線「中之島」駅下車すぐ
- JR大阪駅前バスターミナルから市バス53系統または幹55系統で約15分「堂島大橋」バス停下車すぐ
- JR大阪環状線「福島駅」、JR東西線「福島駅」、阪神電鉄「福島駅」、地下鉄「阿波座駅(中央線1号出口、千日前線9号出口)」より徒歩10分
※JR「大阪駅」西口よりリーガロイヤルホテルバス運行

【私たちの活動内容】 2017年11月～2018年3月

- 11月1日 ベジタリアン・ジャーナル49号発行
- 11月20日 京都ビーガングルメ祭り(宝ヶ池公園) 後援
- 11月24日 定例ベジ交流(食事)会(大阪市・グリーンアース)
- 11月26日 日本ベジタリアン学会共催・東京講演会(新宿区・つづつづセミナーホール)
- 12月22日 定例ベジ交流(食事)会(大阪市・グリーンアース)
- 1月16日 産経新聞文化欄 本協会コメント(ヴィーガン料理)掲載
- 1月26日 定例ベジ交流(食事)会(大阪市・グリーンアース)
- 2月2日 朝日新聞生活欄 本協会調査(菜食の動向)および垣本代表コメント掲載
- 2月11日 大阪府環境局主催「山田くんのグリーングッドな一日」(ヤマダ電機LABI1なんば) 出展
- 2月23日 定例ベジ交流(食事)会(大阪市・グリーンアース)
- 2月24日 第6回ミートフリーマンデーナイト(渋谷区・Blu Jam Café) 後援
- 2月25日 第3回日本ベジタリアンアワード授賞式(名古屋市・アイリス愛知) 共催
- 2月26日 国土交通省「中国地方ベジタリアンガイドマップ(英語版)」(本協会監修) 発刊
- 3月1日 大阪市観光局「大阪ベジタリアンガイド(英語版)」(本協会協力) 発刊
- 3月13日 関西TV「報道ランナー」本協会資料(世界のベジタリアン人口) 報道
- 3月23日 国際ベジタリアン連合(IVU)への寄付
- 3月30日 定例ベジ交流(食事)会(大阪市・グリーンアース)
- 3月30日 世界食料デー募金*を途上国飢餓救済義援金として日本国際飢餓対策機構に寄付

☆発展途上国飢餓救済のための募金*

- 1万円 真田兼光
- 5千円 川田純弘 長野善行 宮城智久 高井明徳 関目実
- 4千円 麻島徹也
- 3千円 嵐雅子 恵村博一 小倉美佳 垣本佳介 垣本優介 玉川雅美 徳永知一 仲本桂子 橋本晃一 林れいか 宮田幸江 三輪亜希子
(3千円以上、敬称略、順不同)

●発行・編集 NPO法人 日本ベジタリアン協会

JPVS(Japan Vegetarian Society)
事務局: 〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目19-23
ステュディオ新御堂1317号室
E-mail: jpvs.office@gmail.com Tel: 06-6868-9860
郵便振替: 00930-6-74013
ホームページ: <http://www.jpvs.org/>



ベジタリアン・ジャーナル

JAPAN VEGETARIAN JOURNAL

NO. 50
APR 2018
J.P.V.S.

第3回日本ベジタリアンアワード授賞式が盛大に開催

山形謙二医師に大賞、中川雅博博士に学術賞
エスビー食品、ANA(全日空)に企業賞など11件の賞が授与されました

第3回日本ベジタリアンアワード授賞式が2月25日、名古屋市のアイリス愛知で開催され、全国から100人を超えるベジタリアンが集い、受賞者を讃えるとともに、懇親会では地域を超えて友好の輪を広げました。
日本ベジタリアンアワードは、IVU(国際ベジタリアン連合)に加盟するNPO法人日本ベジタリアン協会と、日本学術会議協力学術研究団体の日本ベジタリアン学会、さらに、東京、名古屋、京都で市民ベジタリアンを推進するビーガングルメ祭り運営事務局の3団体が協力し、分野を超えたオールジャパンで「人にも地球にもやさしいベジタリアンのライフスタイル」の啓発者を表彰する目的で、日本ベジタリアンアワード委員会が制定したもので、今回は97件のノミネーターから厳正な委員会の審査を経て、11件の受賞者が選ばれました。(敬称略)

<大賞> 山形謙二(やまがた けんじ)

東京大学理学部・米国ロサンダ大学医学部卒。ベジタリアン家庭に生まれ育ち、生涯ベジタリアンを貫いてきた。15年間神戸アドベンチスト病院院長として卵乳菜食のみを入院患者や職員に提供、菜食レストランも運営し、医療界や一般社会に対して菜食の啓蒙活動を行ってきた。泉初のホスピス病棟開設により、「兵庫県社会賞」受賞。兵庫県医師会功績会員、日本ベジタリアン学会理事。

<料理家グループ賞> つづつづ料理コーディネーター
代表 郷田 優気(ごうた ゆうき)

つづつづ料理コナーは、日本ベジタリアン学会認定マイスターである大谷ゆみこ主宰の「つづつづ料理教室」及び「未来食セミナー」の講師。80人を超えるメンバーが全国各地で、日本生まれのおいしいビーガン料理「未来食つづつづ」を日々実践しながら伝える活動に取り組んでいる。メンバーは全員、ベジタリアン学会認定アドバイザー。

<料理家賞> 庄司いずみ(しょうじ いずみ)

野菜料理家。ヴィーガンレシピを書店やメディアを通して提案。著者は60冊以上、近著に『おいしくてすぐ作れる野菜のごちそう』(イカロス出版)など。デリ商品やカフェメニューの開発も手がけ、主宰する「庄司いずみベジタブル・クッキング・スタジオ」のヴィーガン料理のクラスも人気。

<学術賞> 中川 雅博(なかがわ まさひろ)

環境分野から菜食研究に尽力。モンゴルでのベジタリアン調査を学会誌Vegetarian Researchに掲載、学会プレゼンテーション賞受賞。博士(農学)、技術士(環境/総合技術監理)、APEC エンジニア/ IPEA 国際エンジニアで、日本ベジタリアン学会理事・日本ベジタリアン学会認定アドバイザーセミナー講師。

<ヨガ賞> 小上 ようこ(おがみ ようこ)

京都で2つのヨガスタジオと2つのビーガンカフェを運営。ヨガやカフェを通して菜食を啓発。プライベートでは、オルタナティブ教育の学校に通う3人の子供たちから学ぶ芸術と科学の神秘に驚き楽しむ日々。趣味は年に数回訪れる大自然でのキャンプや、バックパックで海外の秘境、秘島めぐりなど。

<カフェ・レストラン賞> Loving Hut(ラブングハット)

ビーガンレストラン Loving Hut。台湾に本部を持ち、世界中の主要都市に独自店舗を運営。東京にある日本唯一の店舗は運営9年を迎える。ビーガニズムを広めるため毎年大型イベントにも参加し特色ある料理を通して愛と生き物への思いやりのメッセージを発信。

<カフェ・レストラン賞> グリーンアース

ベジタリアンという言葉があまり知られていない27年前、大阪市本町にオープン。菜食料理を学ぶために神戸アドベンチスト病院で研修。年数に拘らず、ヴィーガンレストランの先駆けとして日々精進している。元日本ベジタリアン協会理事。



<企業賞> エスビー食品株式会社

日本で初めて国産カレー粉の製造に成功した会社で「地の恵み スパイス&ハーブ」の可能性を追求し、新たな食生活や食文化の創造を通じて社会貢献が出来る企業を目指している。今回、国内大手メーカーとして初めて発売したJPVS推奨(純菜食)のレトルカレー「具材充実18種類の野菜カレー」は日本食糧新聞社主催「第21回業務用加工食品ヒット賞」(2017年度)を受賞した。

<企業賞> 全日本空輸株式会社(ANA)

英国に本部を置く国際的航空サービス会社「Skytrax」より2013年から連続で最高位の5スター評価を受賞、グローバル、ユニバーサル対応を強化している。7種類のベジタリアン用特別機内食やベジ・ハラル・グルテンフリー兼用あられ、上位クラスではベジタリアンプレート等を国際線で提供している。国内では日本ベジタリアン協会等主催のイベントへ積極的に参加している。

<企業賞> ヘルシングあい 伊藤 一重(いとう かずしげ)

西式甲田療法と健康相談の店として開業した「ヘルシングあい」を、故加藤ヒロ子氏より平成8年に引き継ぐ。20年経った現在は1000アイテムの商品を揃え、マクロビオティックカフェ「pukupitchen」を併設するとともに、キッチンスタジオにおいては料理教室、自然療法、ヨガ等のイベントを行い、健康活動を啓蒙している。

<ミートフリーマンデー賞> ミートフリーマンデーナイト実行委員会
代表 小城 徳勇(こじょう のりお)

ポールマッカートニーが提唱する「ミートフリーマンデー」運動に呼応して、2016年より始まった「ベジ&音楽イベント」。ビートルズナンバーの生演奏やベジタリアン料理を楽しみながら、「人にも地球にもやさしいベジタリアンリズム」について知って頂くことが目的。昨年5月ポールの日本講演では東京ドーム内にブースを設置しMFMを啓発する。日本で唯一の英国MFM公認ベジ&ライブイベント。

なお、この催しは、わが国のベジタリアニズム啓発者(個人・団体)の表彰とともに、全国のベジタリアン交流の場として、来年2月に第4回が名古屋で開催される予定です。

CONTENTS

- P1...第3回日本ベジタリアンアワード授賞式
- P2...東京講演会(日本ベジタリアン学会共催)
「がん栄養療法ロカボダイエット vs.完全菜食主義(Vegan)」
.....富永 國比古氏
- P3...日本ベジタリアン学会第17回大会報告
- P4...フェスタ2018、ベジタリアンアドバイザー講座等